



## 5 | 14 旧吉野小生まれ変わる 彫刻体験交流促進施設かぜのびプレオープン

吉野地区に彫刻体験交流促進施設かぜのびがオープンし、彫刻家の五十嵐威暢さんや地域の住民ら34人が参加して、オープンセレモニーが開かれました。

この施設は、平成21年3月に閉校した吉野小学校の校舎を利用して、五十嵐さんのギャラリー兼彫刻体験施設として誕生しました。職員室跡には、幅20・6<sup>センチ</sup>、高さ2.9<sup>メートル</sup>もある『思い出せない白の伝説』と題された巨大な作品が展示されています。

五十嵐さんは「今はまだ5割しか仕上がっていませんが、これから成長していく施設です。地元の人々の力なくしては成り立ちませんので、よろしくお願ひします」と話していました。

## 6 | 26 年齢忘れて大ハッスル 全町一般男子ソフトボール大会

雲ひとつない青空の下、石狩川河川敷のグラウンドで、第31回全町一般男子ソフトボール大会が開かれ、9チーム14人が熱戦を繰り広げました。優勝したのは、旧宮前区のメンバーで結成した宮前チーム。準決勝で前年王者の菊水区を9対8で下して勢いに乗ると、決勝では中央区SEVEN STARSを6対3で制して栄冠を手に入れました。

最優秀選手には、宮前チームの久道一夫さんが、優秀選手には文京ブンブンズの田中久雅さんが選ばれました。





## 6 | 11 みんなでお花畑に 河川緑地で花植え作業

徳富川下流のみどり区側にある石狩徳富河川緑地の花壇広場で、花植え作業が行われました。

例年、新十津川農業高校が授業の一環として行っていましたが、今年は徳富川ラブリバー推進協議会の呼びかけで、みどりの少年団、老人クラブ連合会など11団体、90人を超える方が参加。初夏の訪れを感じる暑い日差しの中、汗を流しながら花植えをしました。

この日のために農業高校が栽培した花の苗<sup>ひしじゅう</sup>3,500株が用意され、町章の菱十をかたどった花壇などに、子どもからお年寄りまでシャベルを片手に手分けして苗を植えていました。

## 6 | 18, 19 全道の窯元一堂に

新十津川観光協会が、改善センター前で第17回新十津川陶芸まつりを開催し、2,500人の陶芸ファンでにぎわいました。

今年は、全道各地から44の窯元が集まりました。来場者は、陶芸家自身から作品の特徴や取り扱い方などの説明を受けて、気に入った作品を次々に購入していました。

会場の一角には、陶芸家がろくろを回して実演するコーナーや、実際に土を触って陶芸体験ができるコーナーも登場し、来場者の人気を集めていました。



## 6 | 11 立派なホテルに育ってね

とっぶ子どもゆめクラブの49人（児童36人、保護者・指導者13人）が、そっち岳スキー場となりの吉沢の里にヘイケボタルの幼虫1,000匹を放流しました。

子どもたちの手による幼虫の放流は平成15年から毎年行われていて、今年で9年目。子どもたちは、幼虫と幼虫のエサになる貝が入った紙コップを手に持って水辺に近づき、水面にそっと放していました。

とっぶ子どもゆめクラブでは、8月9日にホテルの鑑賞会を予定しています。

